

定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	平成29年度	回 数	第7回
日 時	平成29年8月22日 午前9時30分～11時30分		
場 所	庁議室(本庁舎 3 階)		
出 席 者	<p>渡部市長 荒井副市長 森教育長 南部議会事務局長心得 小林経営政策部長 東村総務部長 大西市民部長 平岡環境安全部長 山口健康福祉部長 野口子ども家庭部長 間野資源循環部長 粕谷まちづくり部長 野崎教育部長</p> <p style="text-align: center;">欠席者:なし</p>		
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項 (1) Facebook「たのしむらやま@東村山」での“イベントページ”の 試行実施</p> <p>3. 報告事項 (1) 平成29年市議会9月定例会関係資料提出日程について (2) 東村山市とパーソルテンプスタッフ株式会社との相互の持続可能な 経営を共同研究する包括連携協定について (3) 平成29年4月1日付新規採用職員の勤務状況等の評価について (4) その他</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉会</p>		
会 議 経 過	次頁参照		

1. 開会(市長あいさつ)

- ・ちょうど一年前、台風9号による大雨で大変な状況だったのが昨日のこのように思い出されるが、8月19日に夕方からゲリラ豪雨、雷雨で、萩山町など一部市内でも停電があり、雷の影響で久米川阿波踊りもやむなく中止になった。萩山二丁目の一部で10軒ほど床下浸水があったと報告を受けている。
- ・台風であればある程度、事前準備ができるが、ゲリラ豪雨の場合、特に土日の対応が非常に課題となる。突然のことなので、職員の参集が難しい。ゲリラ豪雨は予測が困難なので、土のうステーション等で、市民の皆さんに自主的に対応いただける環境を作っていくことが極めて重要と感じた。引き続き、台風、ゲリラ豪雨、特に土日の職員参集対応は課題としたい。
- ・7月26日は、中国から蘇州市サッカー交流代表団が来訪され、多くの部署で協力をいただいたお蔭で、少年サッカー交流事業を成功裏に行うことができた。翌27日には運動公園で記念植樹事業を程永華駐日本国特命全権大使をお迎えして実施できたことは、少なからず中国からの当市の印象度は変わったのではないだろうか。オリンピック・パラリンピックに向けて好印象を与えたことは間違いないと思う。
- ・昨日、8月21日はメットライフドームでティーボールのアジア大会が行われ、中国から4チーム、韓国から1チームの計5チームが参加し、日本チームと対戦した。また前日の8月20日には、所沢の早稲田大学で、東村山国際文化スポーツ交流協会にご協力いただき、回田小学校と所沢市の小学校の子ども達と中国のチームとが交流試合を行った。市民レベルでもオリンピック・パラリンピックに向けて気運が醸成されてきていると感じた。
- ・オリンピック・パラリンピックに向けては、各部が「自分事」として捉えていただき、積極的に関わりを持っていただきたい。先般、車椅子バスケットボールでは大変著名な上村知佳さんが東村山市に戻って来られ、再度身体障害者相談員をお願いしたところお引き受けいただけた。パラリンピックに5回出場されており、日本が銅メダルをとったシドニー大会では得点王になられている方。ぜひ当市の福祉施策推進のお役に立ちたい、ということだった。また、パラスポーツの関係でもご協力をお願いしたところである。
- ・東村山警察署とサイバーセキュリティに関する協定締結を行った。サイバーセキュリティ対策を講じていない中・小企業あるいは個人事業主に対して、サイバーセキュリティに対しての啓発や支援を警察が行うものだが、市も音頭取りをし、東村山市商工会等々と連携しながら市内の事業所とサイバーセキュリティに関して啓発を進めていきたい。商工業者だけでなく、病院や福祉関連の事業所も個人情報をかなり扱っているので、働きかけを進めていく必要がある。
- ・8月3日で今年度の職層別会議が終了した。係長職12グループ、課長補佐職4グループ、課長職5グループ、次長職1グループの計22グループで、様々な意見を聞かせていただいた。今年のテーマはワークライフバランス、働き方改革だったが、人事異動の時期を4月から変更してほしいという意見が出た。役所の一番の繁忙期は、年度末から年度当初の3月～5月であり、その時期の人事異動は、職場によっては大きな影響を与えてしまう。また、これまでの職員のメンタル疾患の発生具合を見ても、傾向としては4月、5月くらいからが多い。そういうことから異動時期を分散化するというのも、今後検討する必要があるのではないだろうか。
- ・まもなく9月定例会が告示となり、今年度も後半に入っていく。議会での議論をふまえて後半に向けて点検すべきところは点検し、軌道修正すべきところは軌道修正するというかたちで、遺漏ないように事務

を進めていただきたい。

2. 協議事項

(1) Facebook「たのしみらやま@東村山」での“イベントページ”の試行実施

・昨年の9月に Facebook がスタートし、市内でだいぶ浸透してきており、有効に活用されている。一方で、Facebookの中での情報交換あるいは市民交流等というのが新たな課題として見えてきたことから、イベント機能を活用し、市民同士の情報交換等を行っていくことを試行的に行うことについて協議を行った。

試行的に9月16日に開催する「さとやまシアター」と11月の「市民産業まつり」で試行的に運用を行うことで了承された。

3. 報告事項

(1) 平成29年市議会9月定例会関係資料提出日程について

・市議会9月定例会提出予定案件等について確認した。

(2) 東村山市とパーソルテンプスタッフ株式会社との相互の持続可能な経営を共同研究する

包括連携協定について

・総合人材サービス業のパーソルテンプスタッフ株式会社と、公共団体、民間企業それぞれの強み・ノウハウを活かし、協働することで、東村山創生を加速させ、人口減少、少子高齢化の中で持続可能な地域経営と企業経営を図ることを目的に、包括連携協定を締結する準備を進めている。

今後、パーソルテンプスタッフ株式会社との共同研究を進め、研究で得た成果に基づきながら、働き方改革の推進、市民が活躍する場の創出、地域社会の活性化、市民サービスの向上など、東村山創生を加速させていきたいと考えている。今後のスケジュールとしては、9月上旬に包括連携協定書の締結ならびに調印式をとり行い、9月下旬から実際に協議を始めていきたい。

(3) 平成29年4月1日付新規採用職員の勤務状況等の評価について

・4月1日付新規採用職員が9月30日で6か月の条件付採用期間満了となることから、例年同様に中間評定を行う。各部対応のほどお願いしたい。

(4) その他

〈包括施設管理について〉

・平成30年度からの施設包括管理委託の運用開始に向けて準備を進めているが、現在10社からプロポーザルの参加表明があり、結果として7社が参加となった。8月25日と8月30日の2日間でプロポーザルを開催予定。

4. その他

〈総合震災訓練〉

・9月23日に総合震災訓練を実施する。今回は、午前10時から東村山第三中学校で、市民の方や関係機関で参加する方による例年通りの訓練と、この訓練に先立ち災害対策本部において図上訓練の実施を考えている。この災害対策本部の図上訓練は、マルチメディアホールを使い、各災対班の長である各部長が、どのような支援・報告をするかという訓練であり、時間は午前8時から9時の1時間で、災害時に使用する支援システムのデモ機も用意し、地域防災計画の災害対策本部において自分は何の役割を担っているかということを確認したうえで参加していただきたい。

〈核兵器廃絶と平和展〉

・8月21日から28日まで、いきいきプラザ1階ロビーで「核兵器廃絶と平和展」を行っている。25日は12時20分から「ふれあい喫茶」コーナーでサロンコンサートも行われる。あわせて、8月27日には中央公民館にて「平和のつどい」が行われ、今年で3回目となる「地域と戦争と平和事業」である東大和市の中学生、当市の中学生の広島派遣の報告などがあるので、参加をお願いする。

5. 閉会(副市長)

・包括施設管理委託も動き出し、民間との連携が今後はますます重要になるが、我々は政策立案等、公務員でしかできない仕事を行う。そのためには、自身の能力、スキルを高めて、公務員としての先見を高めていく必要がある。

・若い職員の育成についても管理職にとっては重要な仕事。論文やレポートが書けないということでは課題の抽出、解決への対応策も考えられない。しっかりチェックをしながら指導育成に努めてほしい。